



東日本大震災と「記憶」の記録化

— 試みとしての地域史・写真展・記憶地図・街の復元 —

主催：跡見学園女子大学 後援：文京区

跡見学園女子大学では、地域交流を通じた復興支援活動を目指し、シンポジウムを開催いたします。被災地と外部とをつなぐ実践や、被災者にとっての「心のよりどころ」に注目する活動を報告いただき、いま私たちに何が求められているのかを考えていきます。

開催日：12月21日（土） 13：00～16：30

**場 所：跡見学園女子大学 文京キャンパス
ブロッサムホール（2号館1階）**

西村慎太郎（国文学研究資料館・准教授）

「原子力災害地域の歴史を未来へ紡ぐ—大字誌という方法」

吉田智彦（写真家・文筆家）・鹿日久美（福島からの避難者、母ちゃんずメンバー）

「笑顔の向こうがわ—保養キャンプで出会った母子の日常にある矛盾と不安」

植田今日子（上智大学総合人間科学部・教授）

「『更地の向こう側』の記憶地図—気仙沼市唐桑町宿での試みから」

槻橋修（神戸大学大学院工学研究科・准教授）

「ふるさとの記憶—「失われた街」模型復元プロジェクト」

*同時開催写真展

『心はいつも子どもたちといっしょ』

展示期間：12月11日(水)～12月24日(火)

2場 所：文京キャンパスブロッサムホール
7420

前エントランスホール（2号館1階）

*問い合わせ先

跡見学園女子大学地域交流センター

〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-

電話：03-3491-

Email:d-chiiki@atomi.ac.jp

※シンポジウム・写真展事前申し込み不要。学生の観覧・聴講を歓迎いたします。